

プログラム

1月22日(金)

- 9:00-09:30 O-01 沈 建仁(岡山大学:領域代表者・A班班長・A01)27
「領域活動と当グループの研究紹介」
- 9:30-9:45 O-02 神谷 信夫(大阪市立大学:A01)28
「光化学系II・OECの $S_0 \rightarrow S_1$ 遷移におけるHis残基の互変異性とその役割」
- 9:45-10:00 O-03 山口 兆(大阪大学:A01)29
「水分解反応機構の理論解析:M=O結合の構造と反応性再訪」
- 10:00-10:10 休憩
- 10:10-10:30 O-04 野口 巧(名古屋大学:A02)30
「光化学系IIにおけるルーメン側タンパク質ドメインの動的構造変化の高速AFM観察」
- 10:30-10:45 O-05 杉浦 美羽(愛媛大学:A02)31
「光化学系IIにおける励起・電荷分離の分子機構」
- 10:45-11:05 O-06 民秋 均(立命館大学:A03)32
「クロロフィル二量体の合成とその物性」
- 11:05-11:15 休憩
- 11:15-11:25 O-07 木村 行宏(神戸大学:公募A班)33
「紅色光合成細菌におけるキノン・キノール輸送機構の解明」
- 11:25-11:35 O-08 宮崎 直幸(筑波大学:公募A班)34
「クライオ電子顕微鏡による高分解能構造解析」
- 11:35-11:45 O-09 庄司 光男(筑波大学:公募A班)35
「自然・半導体・分子触媒で利用可能な多様な水分解反応機構の解明」
- 11:45-11:55 O-10 石北 央(東京大学:公募A班)36
「酸化還元電位から解き明かす光合成水分解反応機構」
- 11:55-12:05 O-11 三野 広幸(名古屋大学:公募A班)37
「 $g=5$ をもつマンガンクラスターの分子構造」
- 12:05-13:30 昼食休憩
- 13:30-13:40 O-12 出羽 毅久(名古屋工業大学:公募A班)38
「光収穫系-反応中心複合体(LH1-RC)のバイオハイブリッド化による機能拡張」

13:40-13:50	O-13 磯部 寛 (岡山大学：公募 A 班)	39
	「新たな水分子の結合によって誘起される高酸化状態 Mn クラスターの構造緩和過程に関する理論的研究」	
13:50-14:00	O-14 川上 恵典 (理化学研究所：公募 A 班)	40
	「好熱性シアノバクテリア由来フィコビリソームの立体構造解析」	
14:00-14:10	O-15 榎 達也 (東京理科大学：公募 A 班)	41
	「光化学系 I の長波長型クロロフィルについて」	
14:10-14:20	O-16 西山 佳孝 (埼玉大学：公募 A 班)	42
	「光化学系 II の光阻害と修復の分子機構」	
14:20-14:30	O-17 大友 征宇 (茨城大学：公募 A 班)	43
	「光捕集反応中心とその電子供与体からなる電子伝達複合体の構造解析」	
14:30-14:40	休憩	
14:40-15:00	O-18 橋本 秀樹 (関西学院大学：B 班班長・B01)	44
	「天然光合成系におけるエネルギーフローに関する実験・理論解析」	
15:00-15:20	O-19 野澤 俊介 (高エネルギー加速器研究機構：B02)	45
	「XFEL を用いたフェムト秒 X 線溶液散乱による光化学反応中の反応経路の可視化」	
15:20-15:35	O-20 山下 晃一 (京都大学：B02)	46
	「光触媒 BiVO_4 による水分解反応と塩素イオン酸化反応の理論的研究」	
15:35-15:45	休憩	
15:45-15:55	O-21 恩田 健 (九州大学：公募 B 班)	47
	「実時間状態選別的解析手段による天然および人工光合成過程の解明」	
15:55-16:05	O-22 村上 直也 (九州工業大学：公募 B 班)	48
	「光音響効果を用いた光触媒反応の「真の」量子効率測定」	
16:05-16:15	O-23 小澄 大輔 (熊本大学：公募 B 班)	49
	「好熱性シアノバクテリア PSI, II におけるカロテノイドの光捕集機能」	
16:15-16:25	O-24 長澤 裕 (立命館大学：公募 B 班)	50
	「バイオハイブリッド LH2 におけるエネルギー移動経路」	
16:25-16:40	O-25 石崎 章仁 (分子科学研究所：B01)	51
	「光量子科学に基づく天然光合成系の動的過程に関する理論研究」	
16:40-	講評	

1月23日(土)

9:00-9:20	O-26 阿部 竜 (京都大学：C 班班長・C01)	52
	「高効率可視光水分解のための新規光触媒および反応系の開発」	
9:20-9:35	O-27 井上 晴夫 (東京都立大学：C01)	53
	「高効率かつ高選択的過酸化水素生成のための分子系光触媒の開発」	
9:35-9:50	O-28 佐山 和弘 (産業技術総合研究所：C01)	54
	「酸化的な有用化学品生成のための選択性向上の研究」	
9:50-10:00	休憩	
10:00-10:15	O-29 八木 政行 (新潟大学：C01)	55
	「超低過電圧酸素発生電極を用いた水電解システム」	
10:15-10:35	O-30 工藤 昭彦 (東京理科大学：C02)	56
	「フラックス合成した金属硫化物還元用光触媒を用いた Z スキーム型光触媒による水を電子源とした可視光二酸化炭素還元」	
10:35-10:50	O-31 石谷 治 (東京工業大学：C02)	57
	「分子光触媒を基盤とした水による CO ₂ 還元反応を駆動する光電気化学系の高機能化」	
10:50-11:00	休憩	
11:00-11:10	O-32 小林 厚志 (北海道大学：公募 C 班)	58
	「光触媒活性向上に資する色素増感水素生成光触媒系の表面構造制御」	
11:10-11:20	O-33 押切 友也 (北海道大学：公募 C 班)	59
	「光アンモニア合成に向けた新規モード強結合光カソードの作製」	
11:20-11:30	O-34 南本 大穂 (北海道大学：公募 C 班)	60
	「ナノ光局在場における可視光誘起物質変換」	
11:30-11:40	O-35 加藤 英樹 (東北大学：公募 C 班)	61
	「ペロブスカイト型酸窒化物を酸素生成光触媒に利用した Z スキーム型水分解」	
11:40-11:50	O-36 八井 崇 (豊橋技術科学大学：公募 C 班)	62
	「ナノフォトニック集光器を用いた二酸化炭素還元の高効率化」	
11:50-13:30	昼食休憩	
13:30-13:40	O-37 寺尾 潤 (東京大学：公募 C 班)	63
	「ロタキサン構造による高効率電子伝達系の擾乱抑制手法の確立」	

13:40-13:50	O-38 滝沢 進也 (東京大学:公募C班)	64
	「イリジウム錯体を光増感剤とするベシクル膜を横断する可視光駆動電子輸送反応」	
13:50-14:00	O-39 大津 英揮 (富山大学:公募C班)	65
	「NAD モデル配位子を有する Zn 錯体によるアルコール光酸化反応」	
14:00-14:10	O-40 白石 康浩 (大阪大学:公募C班)	66
	「人工光合成型過酸化水素製造を革新する樹脂半導体光触媒」	
14:10-14:20	O-41 片岡 祐介 (島根大学:公募C班)	67
	「ロジウム二核骨格を水素発生サイトに有する分子触媒とハイブリッド触媒の開発」	
14:20-14:30	休憩	
14:30-14:40	O-42 高口 豊 (岡山大学:公募C班)	68
	「PSII とカーボンナノチューブ光触媒を用いる二段階光励起型水分解反応」	
14:40-14:50	O-43 犬丸 啓 (広島大学:公募C班)	69
	「金属間化合物の電子構造制御による人工光合成用助触媒の設計」	
14:50-15:00	O-44 田部 博康 (大阪市立大学:公募C班)	70
	「可視光応答型水分解を目指した Co ^{II} 含有配位高分子—白金担持硫化物複合体の調製」	
15:00-15:10	O-45 天尾 豊 (大阪市立大学:公募C班)	71
	「ビオローゲン誘導体を電子メディエータとした複合触媒系を用いた二酸化炭素の光還元」	
15:10-15:20	O-46 伊藤 亮孝 (高知工科大学:公募C班)	72
	「微小球状イオン交換媒体を用いた光誘起反応の高効率化」	
15:20-15:30	休憩	
15:30-15:40	O-47 中田 明伸 (中央大学:公募C班)	73
	「フェロセンを用いた光誘起電子/相間移動システムの構築」	
15:40-15:50	O-48 根岸 雄一 (東京理科大学:公募C班)	74
	「Pt ナノクラスター助触媒担持による可視光応答水分解光触媒の高活性化」	
15:50-16:00	O-49 和田 亨 (立教大学:公募C班)	75
	「天然の光合成の仕組みを模倣したルテニウム酸素発生触媒の開発」	
16:00-16:10	O-50 浅井 智広 (立命館大学:公募C班)	76
	「緑色硫黄細菌とメタン生成菌の共培養による光依存的メタン発生」	

16:10-16:20	O-51 池田 茂 (甲南大学: 公募 C 班)	77
	「CuGaSe ₂ 単結晶の光電極化と水分解水素発生」	
16:20-16:30	O-52 林 重彦 (京都大学: 公募 B 班)	78
	「分子再配向が制御するマンガンクラスターの酸素生成反応の理論的解明」	
16:30-	講評	